

# 自閉症スペクトラム障害の子どもへのエビデンス (科学的根拠)のある支援についての研修事業

一般社団法人 パーマネント・クリエイティブ・マインド  
〒671-2201 兵庫県姫路市書写 1019-24 B I Nビル3F

## 助成事業の概要

**研修会：**『科学的根拠のある方法による自閉症スペクトラム障害児への支援』

**日時：**2019年7月14日(日) 10時から16時

**講師：**午前中の講師 島崎まゆみ先生(兵庫教育大学准教授) 専門は応用行動分析学 午後の講師 新澤伸子先生(武庫川女子大学教授) 専門はTEACCH

**対象：**自閉症スペクトラム障害の子どもの保護者 自閉症スペクトラム障害の子どもに日常的にかかわる教師・保育士・福祉職員等 合計180名

**料金：**無料(多くの人に、まず興味を持っていただきたいので、無料とします)

## 事業の成果

講演会には、保護者・教師・福祉事業者・心理関係者など、275名の参加者が集った。

午前中は、兵庫教育大学大学院准教授であり、応用行動分析の専門家である島崎まゆみ先生の講演会をお聞きした。島崎先生の講演では、子どもの問題行動の背景要因や、応用行動分析の基本的な理論、それを生かした支援の手順について分かりやすく参加に説明をしていただいた。多くのご経験の中から、多くの例を出していただきながら、講演をしていただいたので、参加者にも理解しやすかったのではないかと考えられる。

午後は、武庫川女子大学大学教授であり、TEACCH® 公認上級コンサルタントの新澤先生

からはTEACCH自閉症プログラムの原則、自閉症の特性、自閉症の早期支援の目的と意義、大阪府発達障がい児療育拠点事業の効果検証について、お話しいただきました。新澤先生が関わっておられる支援の中で、使っている構造化方法について、多くの写真を用いて、実例を示していただけたので、参加者も、家庭や教室で、すぐに取り組むことが可能であると考えられた。

無料ということもあってか、兵庫県内の自閉症支援で、非常に有名な専門家のお二人の講演ということもあってか、園・学校などの職場で誘い合わせて参加していただける方もいらっしゃり、県内地域に科学的根拠のある自閉症支援、自閉症児への特別支援教育の啓蒙について、大きなインパクトを残せたのではないかと考えられる。

講演会終了後に、スタッフに対して、「今度はいつあるのか?」「定期的に開催してほしい」などの強い要望や、地域の専門職の方から、地域連携の必要性のお話もいただいた。今回、助成を受けることで実現した一つの事業が、大きく発展、派生していく可能性を感じることができた。

## 成果の広報、公表

余っている研修会資料については、近隣の学校等や児童発達支援・放課後等デイサービスに、順次配らせていただいている。今回の事業を行う前に、SNSやインターネット、口コミ等で十分に広報を行ったつもりであったが、事業のことを知らない方が、少なからずいらしかった。その方々に、資料をお渡しすると、内容を見られて、

「今度は参加したい」との声もいただいている。

講師の先生方のスライドについては、著作権もあるため、ネット上に公開し不特定多数が閲覧できるようにすることができないが、少しでも多くの方に、今回の事業のことや、科学的根拠に基づく支援の面白さを知ってほしいので、手渡しという形でも、残っている資料のすべて配っていきたいと考えている。

## 今後の展開

会場はほぼ満席となり、当日参加される方もいらしかった。また、「来年も開催してほしい」、「定期的に科学的根拠のある支援についての学びの機会が欲しい」「なぜ、今までに兵庫県にこのような機会がなかったのか？」との声も多くいただいた。

今後の展開としては、

- (1) 定期的に開催できるように体制を整えていくこと
- (2) 多くの専門家の研修を1～2日にわたって学ぶことができる研修会にすること（例、関東における「自閉症カンファレンス」や中部地方における「東海特別支援教育カンファレンス」）
- (3) 多くの保護者や支援者の方々を巻き込みながら、地域の特別支援教育や自閉症支援の発展のハブになれるような研修会にすることができたらと考えている。

すべての自閉症の特性がある子どもたちが、「科学的根拠のある支援を受けることができる社会」と「自閉症の特性のある子どもたち／成人の方たちのより良い生活や人生の実現」に寄与できるようにしたいと考えている。